

## 竹の加工について

素材の竹を、編むための細い竹ひごにするためにはいくつかの技術と道具が使われます。そしてこれが習得が非常に難しい工程なのです。通常、職人見習いが一貫した品質の竹ひごを確実に作れるようになるには最低でも 3 年間以上の修行が必要であり、そして竹ひごの品質は最終的な竹細工の品質を決定する上で一番重要な要素となるのです。

最初の工程は、竹を必要な長さに切ることです。片手でノコギリを動かしながら、もう片方の手で竹を回転させて切ります。次に竹を回転させながら、先の尖った切り出し小刀を表面に当てて出ている節を削ります。また竹細工を漆塗り、あるいは塗装する場合は、湾曲した「磨き銚」を使って、硬く光沢のある外層を削っていきます。

竹を縦に切って竹ひごに分割するためには、一般的に四角い刃の竹割り包丁が使用されます。多くの場合、職人はこの竹割り包丁の最も鋭い部分を使って最初の割り込みを行い、次に包丁の下部の厚い部分を使用し下方向へ押し、竹を分割していきます。これは一度竹を割るとどんどん下の方に割れ続ける性質があるためです。また一部の職人は、竹を分割する時につま先を使い竹を押さえます。こうして竹ひごの幅をどんどん細くしていき、必要な幅になるまでこの作業を繰り返します。